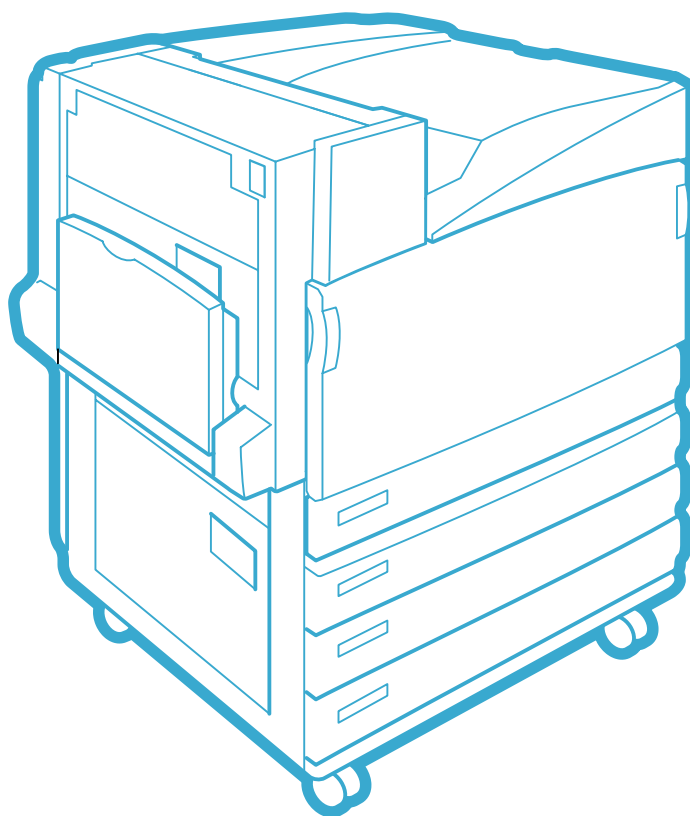


IBM 5591 カラー・レーザー・プリンター

## ART IV / エミュレーションキット 取扱説明書



**IBM**®

P/N 55P1213

プリンターで紙幣を印刷したり、有価証券などを不正に印刷すると、その印刷物を使用するかどうかにかかわらず、法律に違反し罰せられます。

「XEROX」「The Document Company」「Ethernet(イーサネット)」は、登録商標です。  
「DocuWorks」「CentreWare」は、商標です。  
「Adobe」「Adobeロゴ」「PostScript」「PostScript 3」「PostScriptロゴ」は、  
Adobe Systems Incorporated(アドビ システムズ社)の登録商標または商標です。  
「Microsoft」「Windows」「Windows NT」は、米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における  
登録商標です。  
「HP」「HP-GL」「HP-GL/2」「HP-UX」は、日本ヒューレット・パッカード社の登録商標です。  
「NetWare」は、Novell, Inc.の登録商標です。  
「Macintosh」「漢字Talk」「MacOS」「AppleTalk」「EtherTalk」「TrueType」は、  
Apple Computer, Inc.の登録商標です。  
「Intel」「Pentium」はIntel Corporationの商標または登録商標です。  
「UNIX」は、X/OPEN Company Ltd.がライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。  
「Solaris」「SunOS」「NIS(Network Information Services)」は、  
米国サンマイクロシステムズの商標または登録商標です。  
「平成明朝体W3」「平成角ゴシック体W5」は、財団法人日本規格協会フォント普及センターの商標です。  
その他の製品名、会社名は各社の登録商標または商標です。  
画面の使用に際して米国マイクロソフト社の許諾を得ています。

本プリンターのソフトウェアには、the Independent JPEG Groupで作成されたコードの一部を利用しています。

平成明朝体™W3、平成角ゴシック体™W5は、(財)日本規格協会と使用契約を締結し使用しているものです。

#### ご注意

本書の内容の一部または全部を無断で複製・転載・改編することはおやめください。  
本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。  
本書に、ご不明な点、誤り、記載もれ、乱丁、落丁などがありましたら弊社までご連絡ください。  
本書に記載されていない方法で機械を操作しないでください。思わぬ故障や事故の原因となることがあります。  
万一故障などが発生した場合は、責任を負いかねることがありますので、ご了承ください。  
本製品は、日本国内において使用することを目的に製造されています。諸外国では電源仕様などが異なるため使用できません。  
また、安全法規制(電波規制や材料規制など)は国によってそれぞれ異なります。本製品および、関連消耗品をこれらの規制に違反して諸外国へ持ち込むと、罰則が科せられることがあります。

[ IBM ]は、IBM Corporationの商標です。

# はじめに

このたびはIBM 5591 カラー・レーザー・プリンターをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本書には、IBM 5591 カラー・レーザー・プリンターに、ART /エミュレーションキットを装着する方法、ART および各エミュレーションについての本機での設定方法などを記載しています。ご使用にあたっては、必ず最初に本書をお読みのうえ、正しくお使いください。

なお、本書の内容は、ご使用になる環境の基本的な知識や操作方法、ならびにIBM 5591 カラー・レーザー・プリンターの操作方法を習得されていることを前提に説明しています。

製品の性能を十分に発揮させ、効果的にご使用いただくために、必要に応じてお読みください。

2001年10月

日本アイ・ビー・エム株式会社

この取扱説明書のなかで △と表記されている事項は、安全にご利用いただくための注意事項です。必ず操作を行う前にお読みいただき、指示をお守りください。

# 目次

はじめに	
目次	
マニュアル体系について	
本書の読み方	

## 第1部 取り付け

### 第1章 ROMの取り付け

1.1 同梱品の確認	4
1.2 取り扱い上の注意	5
1.3 ROMの取り付け	6

## 第2部 ART IV

### 第1章 ART IVを使用するには

1.1 ART IVについて	12
1.1.1 ホストインターフェイスとプリント言語	12
1.1.2 プリント言語の切り替え	13
1.1.3 フォームについて	13
1.2 フォントについて	14
1.2.1 使用できるフォント	14
1.2.2 ユーザー定義文字(外字)	15
1.2.3 フォントキャッシュ	15

### 第2章 プリンターでの設定

2.1 設定できる項目	18
2.1.1 ART IV設定項目一覧	18
2.2 ART ユーザー定義リストについて	20
2.2.1 ART ユーザー定義リスト	20
2.2.2 プリント方法	20

## 第3部 ESC/Pエミュレーション

### 第1章 エミュレーションを使用するには

1.1 エミュレーションについて	24
1.1.1 エミュレーションモード	24
1.1.2 ホストインターフェイスとエミュレーション	24

1.1.3	プリント言語の切り替え	25
1.1.4	モードメニュー画面	25
1.2	フォントについて	26
1.2.1	使用できるフォント	26
1.2.2	ユーザー定義文字(外字)	26
1.2.3	フォントキャッシュ	27
1.3	排出機能について	28
1.3.1	残ったデータを強制排出する場合	28
1.3.2	プリンター内のすべてのジョブを排出する場合	29
1.4	その他の印刷機能	31
1.4.1	Nアップ	31
1.4.2	フォームオーバーレイ	31
1.4.3	バーコード	31
1.4.4	フォームについて	31

## 第2章 ESC/Pモードの設定

---

2.1	モードメニューについて	34
2.1.1	DocuPrint C2220/2221のメニュー	34
2.1.2	モードメニューについて	35
2.2	ESC/Pモードメニューの設定	36
2.2.1	ESC/P設定項目一覧	36
2.2.2	ESC/Pモードメニューの設定方法	45
2.3	ESC/Pモードのリストについて	47
2.3.1	ESC/Pモードのリスト	47
2.3.2	プリント方法	48

## 第3章 ESC/Pモード関連資料

---

3.1	倍率値一覧表	50
3.2	用紙サイズと印字可能桁数	54

## 第4部 HP-GL/2エミュレーション

### 第1章 エミュレーションを使用するには

---

1.1	エミュレーションについて	60
1.1.1	エミュレーションモード	60
1.1.2	ホストインターフェイスとエミュレーション	60
1.1.3	プリント言語の切り替え	61
1.1.4	モードメニュー画面	61

1.2	工場出荷時の設定 .....	62
1.2.1	オートレイアウト描画時の制限事項 .....	62
1.2.2	ペーパーマージン .....	63
1.3	フォントについて .....	64
1.3.1	使用できるフォント .....	64
1.3.2	ユーザー定義文字(外字) .....	64
1.3.3	フォントキャッシュ .....	65
1.4	排出機能について .....	66
1.4.1	残ったデータを強制排出する場合 .....	66
1.4.2	プリンター内のすべてのジョブを排出する場合 .....	67

## 第2章 HP-GLモードの設定

---

2.1	モードメニューについて .....	70
2.1.1	DocuPrint C2220/2221のメニュー .....	70
2.1.2	モードメニューについて .....	71
2.2	HP-GLモードメニューの設定 .....	72
2.2.1	HP-GL設定項目一覧 .....	72
2.2.2	HP-GLモードメニューの設定方法 .....	80
2.3	HP-GLモードのリストについて .....	82
2.3.1	HP-GL/2のリスト .....	82
2.3.2	プリント方法 .....	84

## 第3章 HP-GLモード関連資料

---

3.1	ハードクリップエリア .....	86
3.2	印字可能エリア .....	87
3.3	オートレイアウト .....	89
3.3.1	オートレイアウトとは .....	89
3.3.2	オートレイアウト機能を有効にするためには .....	89
3.3.3	設定項目の詳細 .....	89
3.3.4	原稿サイズの決定方法 .....	92
3.3.5	用紙サイズの決定方法 .....	93
3.3.6	倍率の決定方法 .....	95
3.3.7	オートレイアウト描画時の制限事項 .....	96
3.3.8	各機能組み合わせ例 .....	97

索引 .....	99
モードメニュー一覧(ESC/P)	
モードメニュー一覧(HP-GL/2)	

# マニュアル体系について

ここでは、本製品に同梱されているマニュアルの種類と、その概要を説明します。

## マニュアルの種類

この製品に関して、次の種類のマニュアルを用意しています。

### 設置ガイド

プリンター本体の設置、オプション製品の取り付けについて説明しています。  
プリンターを設置するときにお読みください。

### 取扱説明書

設置時のプリンターの設定やネットワークの環境設定、プリンタードライバーのインストール、電源の入/切、印刷の中止などの基本的な操作、用紙のセット方法、プリンターの各種設定項目、トラブル時の対応、消耗品の交換など、日常プリンターを利用するときに必要なことについて説明しています。

## オプションマニュアルの種類

オプション製品に関して、次の種類のマニュアルを用意しています。

### PostScript®ソフトウェアキット取扱説明書

PostScript®ソフトウェアキットのROMの設置、PostScript® Driver Libraryに入っているソフトウェアの説明やインストール方法、および使用方法を説明しています。

### ART /エミュレーションキット取扱説明書<本書>

ART /エミュレーションキットのROMの設置、「ART 」または「ESC/P」HPGL/2」の各エミュレーションモードの設定方法、使用できるフォントなどについて説明しています。

#### 補足

PostScript®ソフトウェアキットとART /エミュレーションキットは、同時に使用できません。

# 本書の読み方

ここでは、本書の読み方について説明します。

このプリンター、ドライバーおよびユーティリティは富士ゼロックス株式会社より提供を受けております。

なお、本文中に記載されています「DocuPrint C2221(C2220)」は、「IBM 5591 カラー・レーザー・プリンター」と読み替えてください。

また、「CentreWare ドライバー & ネットワークユーティリティのCD-ROM(CentreWareのCD-ROM)」は、「サポートCD」と読み替えてください。

## 前提知識

本書は、プリンターを日常使用するとき読んでいただきたいマニュアルです。本書の内容は、お使いのOSの環境の基本的な知識や操作方法を理解されていることを前提に説明しています。お使いのOSの基本的な知識や操作イラスト作成中方法については、OSに付属の説明書をお読みください。

## 前提条件

本書は、日常プリンターを使用するかたを対象に制作しています。本書を読む場合には、必要なときに必要な章をお読みください。

また、本書を読み始める前に、以下の項目を確認してください。

- プリンターの設置が終了していること

## 本書の構成

本書は、以下の構成になっています。

### ●●● 第1部 取り付け

#### 第1章 ROMの取り付け

本キットの同梱品一覧や、ART コマンド/エミュレーションキットROMの取り付け方法について説明しています。

### ●●● 第2部 ART コマンド

#### 第1章 ART を使用するには

使用できるインターフェイスや、使用できるフォントについて説明しています。

#### 第2章 プリンターでの設定

ART コマンドを使用するための、プリンターでの設定について説明しています。

### ●●● 第3部 ESC/Pエミュレーション

#### 第1章 エミュレーションを使用するには

使用できるインターフェイスや、使用できるフォント、エミュレートするプリンターなどについて説明しています。



## **第2章 ESC/Pモードの設定**

ESC/Pエミュレーションを使用するための、プリンターでの設定について説明しています。

## **第3章 ESC/Pモード関連資料**

倍率値や、各用紙サイズでの印字可能桁数などについて説明しています。

# ●●● **第4部 HP-GL/2エミュレーション**

## **第1章 エミュレーションを使用するには**

使用できるインターフェイスや、使用できるフォント、エミュレートするプリンター、工場出荷時の設定での動作などについて説明しています。

## **第2章 HP-GL/2モードの設定**

HP-GL/2エミュレーションを使用するための、プリンターでの設定について説明しています。




## **第3章 HP-GL/2モード関連資料**

ハードクリップエリア、各用紙サイズでの印字可能桁数、オートレイアウトについてなどを説明しています。



## 本書の表記

本文中の「クライアント」は、パーソナルコンピューターやワークステーションの総称です。

本文中では、説明する内容によって、次のアイコンを使用しています。

-  **注記** 注意すべき事項を記述しています。必ずお読みください。
-  **補足** 補足事項を記述しています。
-  **参照** 参照先を記述しています。

本文中では、次の記号を使用しています。

-  **参照** 「           」: 参照先は、本書内です。
-  **参照** 『           』: 参照先は、本書内ではなく、ほかの説明書です。
- 「           」: フォルダー、ファイル、アプリケーション、CD-ROMなどの名称を表します。
- [           ] : クライアント上のメニュー、コマンド、ウィンドウやダイアログボックスとそれらに表示されるボタンやメニューなどの名称を表します。
- キー       : キーボード上のキーを表しています。
- 【           】: 操作パネルのディスプレイに表示されるメッセージ、メニューの選択肢や設定値を表します。

チェックボックスがチェックされている状態をオン、チェックされていない状態をオフで表します。

ラジオボタンがチェックされている項目が、選択されている項目です。

Part1cover

# 第1部

---

## 取り付け

---



# ROMの取り付け

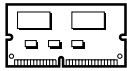
# 1章

1.1	同梱品の確認 .....	4
1.2	取り扱い上の注意 .....	5
1.3	ROMの取り付け .....	6

# 1.1 同梱品の確認

本製品に同梱されている機器・部品は以下のとおりです。

万一、不足している物がありましたら、お買い求めの販売店、または弊社までご連絡ください。



**ART IV/エミュレーションソフトウェアROM**  
プリンターをART IV、ESC/P、HP-GL/2対応にするROMです。



**マニュアル**

- 本書  
ROMの設置手順、各エミュレーションについて説明しています。

# 1.2 取り扱い上の注意

本キットの取扱い時には、以下のことにご注意ください。

## ⚠ 警告

ネジで固定されているパネルやカバーなどは取扱説明書で指示している箇所以外絶対に開けないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の恐れがあります。

## 注記

- 機械を改造したり、部品を変更して使用しないでください。発火や発煙の恐れがあります。
- ROMの端子部分に触らないでください。
- ROMを曲げたり、キズつけないように注意してください。

# 1.3 ROMの取り付け

ここでは、DocuPrint C2220/2221のオプションであるART IV/エミュレーションソフトウェアROMをプリンター本体に取り付ける方法を説明します。

ART IV/エミュレーションソフトウェアROMを取り付けると、次のプリント言語が使用できます。

- ART IV
- ESC/Pエミュレーション
- HP-GL/2エミュレーション

## 参照

各プリント言語を使用する方法については、それぞれ対応する構成部を参照してください。

- ART IVについては「第2部 ART IV」(P.12)を参照してください。
- ESC/Pエミュレーションについては「第3部 ESC/Pエミュレーション」(P.24)を参照してください。
- HP-GLエミュレーションについては「第4部 HP-GL/2エミュレーション」(P.60)を参照してください。

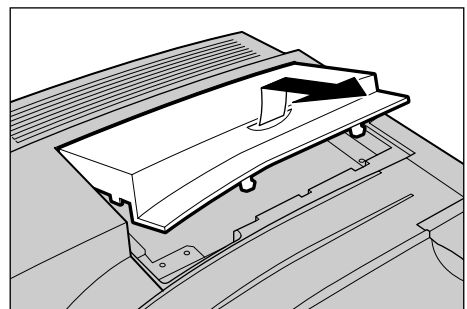
次の手順に従って、ART IV/エミュレーションソフトウェアROMを取り付けます。

## △ 注意

本オプションを装着する際は必ず機器の電源を落して作業を行ってください。電源を入れたまま作業を行うと静電気などによりオプションおよび機器が破損する恐れがあります。

## 操作手順

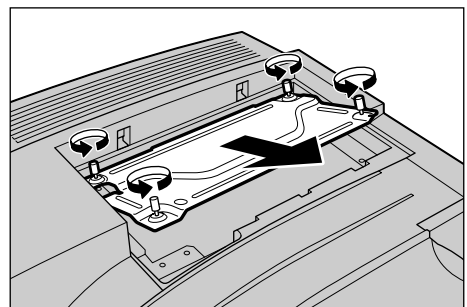
- ① プリンター上面の右奥にあるカバーの取っ手を持ち上げ、矢印の方向に外します。



- ② 4か所のねじを空回りするくらいまでゆるめて、金属の板を外します。

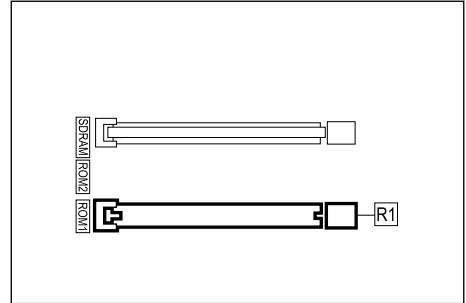
## 補足

ねじは取り外さないでください。



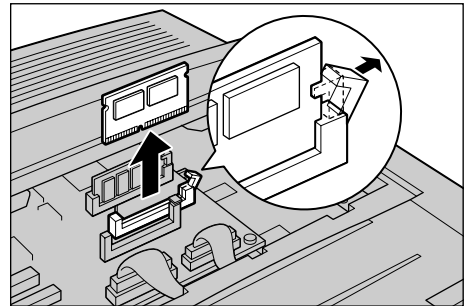


- ③ スロットR1の右側にあるツメを外側に倒してから、装着されているROMを取り外します。



**注記**

必ず、スロットの右側にあるツメを外側に倒してから、ROMを取り外してください。

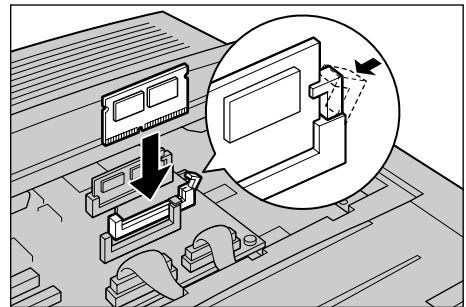


- ④ ROMをスロットR1に切り欠きが左側にくるように、まっすぐに差し込みます。真上から軽く差し込んだ状態で、さらに左、右の順に強く押し込みます。

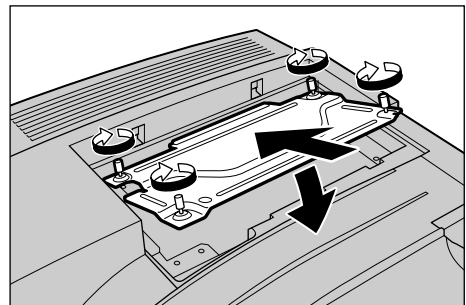
ROMが差し込まれると、右側にあるツメが立ち上がります。

**注記**

確実に押し込まないと、正しく動作しません。その場合は、取り付け直してください。



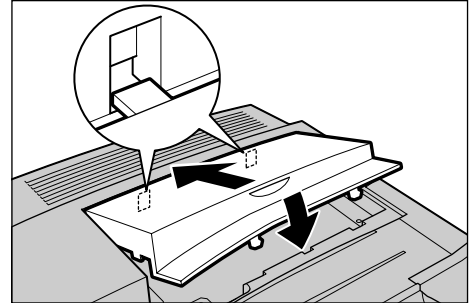
- ⑤ 金属の板を取り付けて、4か所のねじを留めます。



- ⑥ 手順①で外したカバーを、プリンター上面の右奥に取り付けます。

**参照**

プリンターの電源を入れてから、「機能設定リスト」を印刷すると、正しくROMが取り付けられたかどうか確認できます。機能設定リストの印刷方法については、『DocuPrint C2220/2221 取扱説明書』の「6.3 レポート/リストを印刷する」を参照してください。



# 第2部

---

## ART IV

---



# ART IVを使用するには

# 1章

1.1	ART IVについて .....	12
1.1.1	ホストインターフェイスとプリント言語 .....	12
1.1.2	プリント言語の切り替え .....	13
1.1.3	フォームについて .....	13
1.2	フォントについて .....	14
1.2.1	使用できるフォント .....	14
1.2.2	ユーザー定義文字(外字) .....	15
1.2.3	フォントキャッシュ .....	15

# 1.1 ART IVについて

DocuPrint C2220/2221で使用できるプリント言語のART IVについて説明します。プリントデータはある規則(文法)に従ったデータになっています。DocuPrint C2220/2221では、この規則(文法)をプリント言語といいます。

DocuPrint C2220/2221が対応しているプリント言語は、ページ単位にイメージを作るページ記述言語と、他のプリンターでの印刷結果に近い結果を得ることができるエミュレーションに分類することができます。ART IVは、富士ゼロックス株式会社が開発したページ記述言語です。

## 補足

ARTは、Advanced Rendering Toolsの略です。

## 1.1.1 ホストインターフェイスとプリント言語

ホストインターフェイスごとに、対応するプリント言語は異なります。プリント言語に対応しているホストインターフェイスは、次のとおりです。

- パラレルポート
- NetWareポート
- lpdポート
- SMBポート
- IPPポート

## 1.1.2 プリント言語の切り替え

---

DocuPrint C2220/2221は、複数のプリント言語に対応しています。このため、対応するプリント言語の切り替えができるようになっています。対応するプリント言語を切り替える方法は、次のとおりです。

### ●● コマンド切り替え

対応するプリント言語を切り替えるコマンドを用意しています。DocuPrint C2220/2221は、コマンドを受け取ると、対応するプリント言語に切り替えます。

### ●● 自動切り替え

ホストインターフェイスが受信したデータを分析し、プリント言語を自動的に特定します。そして、対応するプリント言語に切り替えます。

### ●● インターフェイス従属

操作パネルを使って、ホストインターフェイスごとにプリント言語を設定します。データを受信したホストインターフェイスに合わせて、対応するプリント言語を切り替えます。

## 1.1.3 フォームについて

---

DocuPrint C2220/2221では、ART IVを使用して定形のフォームを登録できます。フォームは、64登録できます。増設ハードディスク装置装着時は、2048登録できます。

# 1.2 フォントについて

## 1.2.1 使用できるフォント

ART IVでは、以下のフォントが使用できます。

### ●● アウトラインフォント

搭載されているアウトラインフォントは、次のとおりです。

#### 和文

- 平成明朝体W3
- 平成角ゴシック体W5

#### 欧文

- 平成明朝体(ローマン)
- 平成角ゴシック体(サンセリフ)
- 平成角ゴシック体(FMT)
- Enhanced Classic
- Enhanced Modern
- CS Times Roman
- CS Times Italic
- CS Times Bold
- CS Times Bole Italic
- CS Triumvirate Regular
- CS Triumvirate Italic
- CS Triumvirate Bold
- CS Triumvirate Bole Italic
- CS Courier
- CS Courier Oblique
- CS Courier Bold
- CS Courier Bold Oblique
- CS Symbol



## 1.2.2 ユーザー定義文字(外字)

DocuPrint C2220/2221では、ユーザー定義文字(外字)を使用できます。ユーザー定義文字は、メモリーにしか格納できません。このため、電源を切ると、消去されてしまいます。ただし、内蔵増設ハードディスク装置を装着すると、ユーザー定義文字はハードディスクに格納されるため、電源を切っても保持されます。内蔵増設ハードディスク装置に登録できるユーザー定義文字の容量は、メモリー格納時と同じ容量です。

ユーザー定義文字を格納するメモリーの容量は、その他のユーザー定義データの容量と合わせた値を、操作パネルから設定できます。この値は、電源を切っても保持されます。

ユーザー定義文字は、ビットマップフォントとして登録します。ユーザー定義文字は、各プリント言語の間で共有できません。

## 1.2.3 フォントキャッシュ

高速印刷を実現するために、ある程度の大きさまでのアウトラインフォントについては、フォントキャッシュを実行します。アウトラインフォントを印字するときには、一度、ビットマップの形式に変換されます。この処理時間をできるだけ短縮するために、処理後のビットマップ形式のデータを、メモリーに保存しておきます。これをフォントキャッシュといいます。

保存されたビットマップ形式のデータは、電源を切ったり、システムリセットをしたりすると、消えます。



# プリンターでの設定

# 2章

2.1	設定できる項目 .....	18
2.1.1	ART IV設定項目一覧 .....	18
2.2	ART ユーザー定義リストについて .....	20
2.2.1	ART ユーザー定義リスト .....	20
2.2.2	プリント方法 .....	20

# 2.1 設定できる項目

この節では、ART IVに関連する共通メニューの設定項目について説明します。

## 参照

共通メニューで設定できる全項目と操作方法については、『DocuPrint C2220/2221取扱説明書』の「第8章 共通メニューの設定」を参照してください。

## 2.1.1 ART IV設定項目一覧

### ●●● ポートの起動

パラレル/lpd/NetWare/SMB/IPP

ART 言語を使用するポートを起動します。

### ●●● プリントモード指定

各ポートのプリントモード指定を、ART 言語が使用できるように設定します。

パラレル/lpd/NetWare/SMB/IPPのプリントモード指定(初期値:【ジドウ】)

プリントモードとして【ART4】や、【HexDump】を指定できます。

### ●●● メモリー設定 \*補足(1)

メモリー設定メニューは、各インターフェイスのメモリー容量の変更などを行うためのメニューです。ART IVに関連する設定項目は、「ART4フォームメモリー」と「ART4ユーザー定義メモリー」です。

## 注記

- メモリー容量を変更するとリセットされるので、各メモリー領域に格納されているデータは、すべて消去されます。
- メモリーの全体量を超えた割り振りはできません。電源を入れたときに、設定値が搭載メモリー容量を超えた場合は、システムによって自動的に調整されます。メモリーの割り振りについて詳しくは、『DocuPrint C2220/2221取扱説明書』の「1.6 メモリーの割り当てについて」を参照してください。

#### ART4フォームメモリー

ART IVフォームで使うメモリー容量を指定します。

32～2048KBの間で、32KB単位にメモリー容量を設定します。初期値は【192K】です。設定できる最大値はメモリーの空き容量によって変化します。内蔵ハードディスクが装着されている場合は、【ハードディスク】と表示されます。

#### ART4ユーザー定義メモリー

ART IVユーザー定義で使うメモリー容量を指定します。

32～2048KBの間で、32KB単位にメモリー容量を設定します。初期値は【32K】です。設定できる最大値はメモリーの空き容量によって変化します。

## ●●● 初期化/データ削除

NVメモリーに記憶されているプリンター設定値、ハードディスク、集計レポートの初期化と本機に登録されているフォームなどのデータの削除ができます。NVメモリーとは、電源を切っても本機の設定内容を保持しておくことができる不揮発性のメモリーのことです。

ART IVに関連する設定項目は、「フォームの削除」の「ART4フォーム削除」です。

---

### フォームの削除

登録されているフォームがない場合は、【フォームデータハアリマセン】と表示されます。

ART4フォーム削除

ART IV用のフォームを削除します。

---

\*補足(1) または で候補値を変更するとき、ボタンを押し続けると、連続的に表示を変えることができます。また、と を同時に押すと、初期値が表示されます。

#### 補足

共通メニューのネットワーク/ポート設定では、「パラレル」「NetWare」「IPP」の各ポート設定の「プリントモード指定」の候補値として、【ART4】が表示されます。「プリントモード指定」では、ホスト装置から受信したデータの処理方法を設定します。ここで【ART4】を設定すると、「1.1.2 プリント言語の切り替え」(P.13)で説明している「自動切り換え」はできなくなります。

# 2.2 ART ユーザー定義リストについて

ART モードでのユーザー定義リストについて説明します。

**補足**

レポート/リストの印刷結果は、DocuPrint C2220を例に記載しています。

## 2.2.1 ART ユーザー定義リスト

ユーザー定義リストでは、登録したフォーム、ロゴ、ユーザー定義領域の使用状況などを確認できます。

**DocuPrint C2220**  
ART IV, ESC/Pユーザー定義リスト

日時: 2008/11/09 13:56  
ページ: 1/68(68)

ESC/Pフォーム一覧

登録番号	登録フォーム名	バイト数
No. 1	"form0001"	1474008

ART IVフォーム一覧

登録番号	登録フォーム名	バイト数
No. 1	"fn1"	39
No. 2	"fn2"	39

ロゴ一覧

登録番号	登録ロゴ名	バイト数
No. 1	"12344556"	402
No. 2	"logohat1"	1084829
No. 3	"お祭り祭り"	402

ART IVユーザー定義領域使用状況

総バイト数	53248
空きバイト数	53248
使用バイト数	
ART IV字データ	0
ART IV線タイプデータ	0
ART IVグレーパターンデータ	0
ART IV描画パターンデータ	0
ART IVコマンドマクロデータ	0

ユーザー定義メモリー情報

フォーム、ロゴ登録メモリーサイズ	ハードディスク使用
------------------	-----------

**補足**

その他のリスト/レポートについては、『DocuPrint C2220/2221取扱説明書』の「6.3 レポート/リストを印刷する」を参照してください。

## 2.2.2 プリント方法

共通メニュー項目で、「レポート/リスト」の「ユーザーテイギリスト」を選択し、印刷します。リスト/レポートの印刷方法は、『DocuPrint C2220/2221取扱説明書』の「6.3 レポート/リストを印刷する」を参照してください。